

新ましこ未来計画外部検証委員会（資産形成分野）議事録

日時	平成 30 年 5 月 24 日(木) 16:00～17:20	
場所	役場 職員休憩室	
出席者	委員	大岡委員、添谷委員、日渡委員、濱田委員
	職員	岡教育長、大内産業建設部長、高浜観光商工課長、大関建設課長、櫻井生涯学習課長
	事務局	吉永係長、深谷
配布資料	次第、推進シート	

発言者	発言要旨
教育長 産業建設部長	1. 開会 2. 出席者紹介 省略 3. 配布資料確認 4. 案件 (1) 概要説明
	(2) 施策ごとの検証 ○P.56 施策 1 歴史や文化財の活用
委員	亀岡八幡宮の桜と菜の花は大変きれいだが、ここ数年で整備したのか。
生涯学習課長	もともと地元の方が整備を進めてくださっていた場所だが、町でも花のまちづくり事業の一環として連携していくこととした。今後は、大規模花畑のイベントとして、ひまわり・コスモスと同じように周知していく。
委員	集客力が上がると駐車場が足りなくなる恐れもある。花の時期の出入りが混雑するので信号が必要と思うが。
生涯学習課長	期間中は離れたところにも臨時駐車場を確保したほか、表示の看板をつけて案内している。信号は県公安委員会が設置することとなるが、今後の状況を見ながら判断していく。
委員	砕石や看板代等、支出があったと思うが町で負担したのか。また、常設トイレの整備はいかがか。
生涯学習課長	砕石は建設課、看板はもともと花のまちづくり事業で使用していたものを活用した。常設トイレの設置に関し、歴史文化基本構想事業の一環として、文化庁の補助金を活用した新たな協議会を立ち上げ、そちらが主体となり整備する予定がある。

委員	日本遺産は二年連続で落選ということだが、前回の委員会でプロによるコンサルやデザインで勝負しないと難しいという話があったと思うが、活用したのか。
生涯学習課長	昨年度認定された全国の自治体すべてに電話で確認したところ、コンサルを活用した自治体の方が少なかったことがわかり、今年もコンサルは活用しなかった。しかし、申請書の1ページ目に魅力的な写真を採用するとやはり目立つので、プロによる写真は重要だと考えている。今年の結果は、76件の申請中13件が認定され、県内では5件の申請中2件が認定された。内訳は宇都宮市大谷地区と複数自治体による那須野が原が認定、小山市の結城紬と複数自治体による渡良瀬遊水地は落選であった。文化庁は、累計で67件を認定したが、2020年までに100件を目標としていることから、認定されるよう今後も申請する。
委員	申請数は増加しているのか。認定されるにはインパクトのある申請内容でないと難しいだろう。
生涯学習課長	増加している。今後の方針としては、検証を行うとともに、県文化財課や文化庁に出向いて助言を得ながら進めていきたい。
委員	宇都宮市や那須野が原は申請2年目か。
生涯学習課長	把握していない。
委員	文化庁に指導を仰いでいるのか。
生涯学習課長	今回は2回ほど出向いて助言をいただいた。また、毎回県の職員に同行していただいている。
委員	文化庁の認定の予定は何年間で100件か。
生涯学習課長	5年で100件を予定している。
委員	<u>○P.57 施策2 風土や風景、風習の継承</u> 世間遺産の看板は大変立派で、職員の熱意が伝わってきた。
生涯学習課長	看板は彫り方など、よく見える方法を研究し職員が手作りしている。報道機関も注目しており、NHKの放送が1度あり今後も1件予定している。朝の「おはよう日本」という番組である。
委員	NHKは視聴者が多いため効果が高いと思われる。

生涯学習課長	前回は反響があった。
委員	アカマツ復活プロジェクトとは、間伐だけを行っているのか、それとも植林もするのか。
委員	県東環境森林事務所の指導を受けて実施しており、植林もしている。昨年は七井小5年生が幼木を植えた。今年は益子小の児童が植樹の体験をする予定である。過去には県の植樹祭では、益子の森の一部、20アールの広さを植樹した。
委員	山では一般の町民が目にする機会は少ないため、まちなかにシンボリックに植えるのはどうなのか。町民が普段目にする駅や役場周辺整備事業、図書館などに植えてアピールできないか。
委員	アカマツは大きく伸びるため、面積を広く確保する必要がある。
委員	いろいろなコンクールに対して学校に働きかけとあるが、学校ごとに提出するのか、町で取りまとめて提出するのか。また、明るい選挙のポスターは、町民会館に掲示するなど目にする機会があるが山火事防止ポスターは目にしていない。PRにもなるので一定期間掲示しても良いのではないかなと思うが。
教育長	山火事防止ポスターはオープン出展が多く、学校の判断となるが、オープン出展では、ほとんど参加しない場合もある。また、火災予防のポスターは芳賀地区消防本部が募集している。
委員	町独自のコンクールはあるか。
教育長	里山の会のやまゆりの絵は町のみで行っている。
委員	やまゆりの絵は文化祭で展示しているのを目にしている。
委員	展示は子どもたちの励みになる。
委員	<u>〇P.58 施策1 ましこのランドスケープデザインの作成</u> 西明寺に行く道路について以前の委員会では話題にしたが、その後、枝を切ったことを確認した。とてもきれいになっており、大型バスで通りやすくなったようだ。大羽に抜ける道路は以前と変わっていないようだった。
建設課長	県道益子公園線は改良を予定しているところで、現地の測量までは実施している状況である。西明寺は百目鬼川の上流にあたるが、大雨時には冠水する問題があるた

	め、百目鬼川放水路の整備についても併せて真岡土木事務所へ依頼している。観光客が訪れるホテルの存在や、町の文化財を観光資源にしたいということもあり、2020年を実施目標にという考えであったが、間に合わない恐れがある。それでも益子の資産を活用できるよう、回遊性を高める目的で改良や補修を予定している。
委員	県道益子公園線の完成予定はいつか。
建設課長	県道益子公園線は西明寺付近だけでなく、大羽地区の地藏院まであり、距離が長い ため、現在は西明寺までの道路を拡げることから取り組んでいる。
委員	ランドスケープデザインの業者は、決まったのか。
建設課長	益子出身の小堀さんという方に依頼する予定である。今年度は各地区の調査を行い、まずは現状を把握したうえで詰めていく。町長のほか、地区のリーダー的な方など多くの方に話を聞いていく。
委員	予算総額はどのくらいか。
建設課長	今年度は500万円、来年度も同程度を考えている。
委員	委託の範囲、内容はどのようなものか。
建設課長	ランドスケープデザインに関する調査から、計画書のまとめまでを業務として考えている。50～100年後までを見据えた計画であるので、様々な発想を盛り込みつつ有効性のあるものとしたい。
委員	年々人口が減少しているため、その点を見据えていただきたい。
建設課長	公共事業についても同じく、人口減少の視点が必要と考えている。
委員	<u>○P.59 施策2 特性をいかした地域創生</u> 小宅の亀岡八幡宮では、10月ぐらいから冬桜が見られる。また、春と秋に芳賀富士に朝日が昇る様子が見られる日もあり、最近話題になり始めているのでPRするとよいかも。
生涯学習課長	今後さらに、不用竹の伐採予定があるため、見晴らしは更に良くなると思われる。
委員	亀岡八幡宮里山の会や円道寺花の会に関わる人は、担当職員さんに補助申請方法など指導していただきありがたいと話していた。

委員	大郷戸ダムは大きな看板が道路沿いにあるが、近年では人が集まらないように感じている。自分が子育てをしていたころは、育成会や自治会行事等で子どもたちが集まり、釣りやバーベキューを楽しんでいた。近年では、人が行かなくなってしまったのはなぜか。付近にあったカレー屋さん、お蕎麦屋さんも廃業してしまった。何かPRの方法はないか。
産業建設部長	一時期、アウトドアブームがあり、町外からバスが来ることもあった。今後も農村と観光の関連付けを行い、何かできないかを農政課、道の駅で検討していきたい。また、建物も活用していきたい。
建設課長	ダム周辺の砂利の道路は町道であり、少しずつ舗装工事をしているが、周遊できるよう目指している。
委員	サイクリングマップに入れてもらうのもよい。
産業建設部長	道の駅を拠点にサイクリングツアーも行っている。場所としては適しているため、順次紹介していきたい。
委員	水質がよいのか、蚊がいないと話していた。蛍はいないのか。
委員	富谷観音の方に行く奥の方にでると、聞いたことがある。
委員	旧山本小に勤務していたころ、子どもたちと富谷観音まで行ったことがある。ハイキングコースとしても良いと思う。途中に採石場の断崖絶壁があり危険箇所もある。民話との関連もできる。
委員	山本には茸郷戸池という池があり、水のきれいさに感動したことがある。ハイキングコースにいかがか。
委員	茸郷戸池から三居台へ行ってもよい。
委員	<u>○P.60 施策1 町のブランドイメージの確立</u> 栃木県職員は益子焼を意識していないと感じている。県内、県民向けに益子焼をアピールし、イメージ付けも必要ではないか。観光といえば、いつも日光・鬼怒川を推している印象がある。
教育長	タレントの井上咲楽さんが益子町宣伝部長になり、頑張ってくれている。
委員	益子は単独で活動しているイメージがあるので、県と協力した方が効果的かと思うが。

産業建設部長	観光面では入込数を見れば確かに、日光・鬼怒川・那須は実績があるが、工業製品としての面では、益子焼は県内トップレベルであるので、県で力を入れてくれている。県への働きかけを強化していきたい。
観光商工課長	100回目の陶器市の際には、知事も予定していただいていたが、直前に都合が悪くなってしまった。
委員	デスティネーションキャンペーン（DC）は効果を發揮しているか。
観光商工課長	DCは20年前も関わったが、当時はJR沿線のみという記憶だった。今回は全県的な展開で、県東エリアもSLやいちごをアピールしたイベントを行っている。
委員	2020年のオリンピックでは、ハンガリー選手団にいちごを送るなど検討したらいかがか。益子焼を奇抜な方法で取り上げてほしい。
事務局	（3）その他 全体を通して何かあるか。
委員	日本遺産は、笠間市と連携するということも検討してはいかがか。
生涯学習課長	単独申請ではなく、本町の文化・民芸と連携できる地域との共同申請という点も検討ができる。今後方針を決めていきたい。
	5. 閉会